

平成26年度

石手川ダム水源地域ビジョン

活 動 報 告 書

石手川ダム水源地域ビジョン推進連絡協議会

## 1. 会議等 開催状況

### (1) 会議

- |                    |                 |      |      |
|--------------------|-----------------|------|------|
| ○平成 26 年 6 月 3 日   | 推進委員会           | 出席委員 | 8 名  |
| ○ 同 日              | 連絡協議会           |      |      |
|                    | 第 1 回地域・環境づくり部会 | 出席委員 | 21 名 |
| ○平成 26 年 10 月 21 日 | 第 2 回地域・環境づくり部会 | 出席委員 | 21 名 |

### (2) 実施事業

- |                    |             |       |       |
|--------------------|-------------|-------|-------|
| ○平成 26 年 6 月 7 日   | カジカガエルの観察会  | 参加者   | 37 名  |
| ○平成 26 年 7 月 29 日  | 自然と遊ぼう DAY! | 参加者   | 73 名  |
| ○平成 26 年 11 月 22 日 | 自然観察会&ダム見学会 | 参加者   | 35 名  |
| ○平成 26 年 11 月 30 日 | 竹を使おう DAY!  | 参加者   | 45 名  |
| ○平成 27 年 2 月 20 日  | 留学生友好の森づくり  | 参加者   | 105 名 |
|                    |             | 参加者合計 | 295 名 |

## 2. 検討内容

### ◎ 平成26年6月3日 推進委員会での協議

大枠の方向性は以下のとおり。

#### 1. 放置竹林対策や竹の有効活用について（両部会）

○将来的な課題として、研究・検討を継続していく。

#### 2. 留学生友好の森づくり事業の実施について（地域づくり部会）

○継続実施する。

#### 3. 遊休農地の有効活用について（地域づくり部会）

○引き続き「水農里会」への支援と連携を図りながら事業を実施する。

#### 4. 自然観察会の実施について（環境づくり部会）

○開催する時期や回数等、内容の拡充を十分に検討のうえ、継続実施する。

以上のような方向性で、詳細の検討や事業の実施は連絡協議会に一任する。  
また、予算についてもこれまでどおりであるが、国等で実施している各種助成制度の活用については事務局へ一任する。

## ◎ 平成 26 年 6 月 3 日 推進連絡協議会での協議

### 1. 放置竹林対策や竹の有効活用について（両部会）

- 竹を使う方策について意見がだされ、引き続き検討していく。
- 両部会協力を図りながら、イベントを継続。

### 2. 留学生友好の森づくり事業の実施について（地域づくり部会）

- 今年度も事業を実施する。
  - ・ 獣害対策は、現地の状況を注視して対策を検討していく。

### 3. 遊休農地の有効活用について（地域づくり部会）

- 水農里会の活動を引き続き支援していくことで、遊休農地の有効活用を図る。

### 4. 自然観察会の実施について（環境づくり部会）

- 例年通り、「自然と遊ぼう DAY！」と石手川ダムでの自然観察会を継続して実施する。
- 新しいイベントとして「カジカガエルの観察会」を開催する。

### 5. 不法投棄防止対策について（環境づくり部会）

- 引き続き啓発活動を実施する。また、必要に応じて新たな具体的対策について検討する。

## ◎ 平成26年10月21日 推進連絡協議会での協議

### 1. 両部会に分かれての協議

#### ○環境づくり部会

- ・これまでの実施報告
  - カジカガエルの観察会（6月7日土曜日）
  - 自然と遊ぼうDAY！（7月29日金曜日）
- ・今後の実施予定について
  - オンドリをはじめ冬鳥の観察&ダム見学！！（11月22日）
- ・その他
  - 日浦ホテル保存会

#### ○地域づくり部会

- ・放置竹林対策や竹の有効活用について
  - 「竹を使おうDAY！」を実施する。
  - 昨年行った竹炭作りを、両部会合同で連携して行う。
  - 地元の方に昼食を提供していただき、上下流の交流を図る。
- ・留学生友好の森づくり事業について
  - 日浦小中学校の「日浦夢桜の森づくり事業」と合わせて開催する。
  - 昨年と同じ場所で安全対策に十分配慮して植樹を実施する。
  - 新たな植樹場所の確保などについて、改めて検討していく。

### 2. 水農里会の活動について

- ・継続して支援をしていく。

### 3. ごみの不法投棄について

- ・設置看板の効果も一定見られることから、引き続き、状況をみながら検討していく。